

10月は食品ロス削減月間

01 『食品ロス』って知ってますか？

『食品ロス』とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

日本では、平成30年度に年間600万トン以上の食品ロスが発生しており、国民一人当たり毎日ご飯茶碗1杯分(約132g)の食べ物を無駄にしていることとなります。

02 食品ロスを減らす行動をしてみよう！

食品ロスを削減するためには、私たち一人ひとりが、「もったいない」の気持ちを大切に、できることから行動することが重要です。

ご家庭での料理の時、お買い物や外食、宴会などのあらゆる場面での、ちょっとした行動が食品ロスの削減につながります。



県の取組

①食品ロス削減月間パネル展を開催！

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。

食品ロス削減月間に合わせて、県立図書館でパネル展を予定しています。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

②県政広報テレビ番組「うまんちゅひろば」で事例紹介！

11月13日・14日放送予定の「うまんちゅひろば」では、那覇国際高校「家庭クラブ」の食品ロス削減の取組を紹介します。

③沖縄県食品ロス削減推進計画(令和3年度策定予定)

食品ロス削減の取組を県民運動として全県的に展開するため、令和3年度中に沖縄県食品ロス削減推進計画を策定することとしています。計画の策定にあたっては、生産者からサプライチェーンに係る事業者、消費者等で構成する沖縄県食品ロス削減推進県民会議を設置し、広く県民の意見を反映した計画とすることとしています。

問い合わせ

消費・暮らし安全課 電話：098-866-2187 FAX：098-866-2789

経済的理由で進学をあきらめないための修学支援制度

家庭の経済状況に関わらず、意欲があれば、大学や専門学校などへの進学や、高校生等への支援など学びを応援する制度を紹介します。

1 大学生や短大生、専門学校生などへの修学支援新制度

住民税非課税世帯やそれに準ずる世帯の学生は、世帯収入や学校種に応じて、申請により返還不要の給付型奨学金や、授業料・入学金の減免などの支援を受けることができます。



- ①在籍する高校
- ②日本学生支援機構奨学金相談センター
(☎0570-666-301)
- ③進学先学校の奨学金窓口
に相談ください。

文部科学省ホームページ



①「高等学校等就学支援金」…授業料を支援します。

世帯年収が約910万円未満の世帯の高等学校等(高専、専修学校高等課程を含む)に通う生徒が対象で、世帯年収によっては授業料の実質負担が0円となる場合があります。

高等学校等就学支援金・
学び直し支援金(授業料無償)について

詳しい情報はこちら

(公立)



(私立)



②「高校生等奨学給付金」…授業料以外の教育費を支援します。

生活保護世帯や、住民税所得割非課税の世帯のうち、高校生等をもつ県内に居住する保護者等が対象です。

また、家計が急変して非課税相当になった世帯も対象となります。

令和3年度 奨学のための
給付金(高校生等奨学給付金)について

詳しい情報はこちら

(公立)



(私立)



問い合わせ

総務私学課 電話：098-866-2074 FAX：098-866-2079